

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市衣笠老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活総合事業）による介護予防型デイサービスの実施

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

- ・通所介護・介護予防通所介護事業実施とこれに伴うサービス提供（食時・入浴・機能訓練・レクリエーション・送迎・相談業務などの提供）
- ・認知症高齢者の積極的受け入れ
実践者研修シートオリジナル版を活用）
- ・グループレク・個別レク、個別ニーズへの配慮等、利用者満足度の向上を図る
- ・中・高・大学生、地域住民の実習、ボランティアの積極的受け入れ
- ・地域貢献事業として、学区健康すこやか教室の参加、包括圏域認知症カフェの参加
地域交流会の実施、地域の児童養護施設の地域交流会実施の協力参加（新型コロナウイルス感染症の為中止中）

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

管理者：1名 生活相談員：2名 看護師兼機能訓練指導員：5名
介護職員：9名 調理員：5名 介護支援専門員：4名 運転手：3名

（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積もり合わせを行っています。

5 施設の利用状況(施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1) 延べ利用者数(実績値)

6435 人

(2) 実利用者数(実績値)

852 件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況(単位:円)

介護保険収入	59,218,647
利用料収入	4,168,584
委託料収入	0
補助金収入	0
寄付金収入	0
雑収入	0
その他	60,043,594
収入計	123,430,825

イ 令和4年度支出状況(単位:円)

人件費	80,631,376
事業費	13,514,174
委託費	0
小額修繕費	0
その他	29,279,939
支出計	123,425,489

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

- ・法人統一満足度アンケートの実施
令和5年1月から配布し、集約結果を利用者介護者に返しています。
- ・利用者への聞き取りを実施するため、会話の中から利用者の思い、満足度を聞き取るようにしています。

(2) 利用者満足度把握の結果

＜主な項目＞					
利用時間	満足: 80.0%	やや満足: 14.3%	不満: 0%	やや不満: 0%	無記入: 2.9%
送迎	満足: 94.3%	やや満足: 2.9%	不満: 0%	やや不満: 0%	無記入: 2.9%
入浴	満足: 77.1%	やや満足: 5.7%	不満: 0%	やや不満: 0%	無記入: 17.1%
食事	満足: 91.4%	やや満足: 0.0%	不満: 0%	やや不満: 0%	無記入: 8.6%
職員対応	満足: 82.9%	やや満足: 8.6%	不満: 0%	やや不満: 0%	無記入: 8.6%
満足度	満足: 82.9%	やや満足: 8.6%	不満: 2.9%	やや不満: 0%	無記入: 5.7%

(3) 意見等への主な対応状況

全体として昨年度より満足度は上がった。新型コロナウイルス感染症対策でご家族との直接交流の機会が持てないことが多く、認知症のご利用者のご家族は利用時の様子が分らないという意見があり、機関誌や連絡帳でお伝えする機会を増やすなど工夫していきます。

7 その他特記事項

(1)

- ・法人内施設でブロック体制を組み、「相談員」、「看護師」、「介護支援専門員」、「ケアワーカー」、「調理員」と各部門に分かれた会議をしています。
- ・近隣の金閣学区の介護予防高齢者向け「金閣健康すこやか学級」に毎月定期的に参加する取組を計画し、地域の高齢者との関係を密にし相談援助ができるようにしています。
- ・圏域の包括支援センターを中心に作られた「原谷圏域事業者連絡会議」が新型コロナウイルス感染症のため開催できなくなっており、行方不明高齢者発見協力や感染症対策研修などウェブ開催にて行われ会議に参加しています。
- ・地域認知症カフェの立上げから参画し、ケアプランセンター・デイサービスセンターからも実行委員を選出し学区民と包括支援センターと一緒に「オレンジ庵金閣」の運営を行っており、職員の参加とともに送迎車の貸し出しを行うなど事業に携わらせて頂いています。
- ・チャレンジ就労体験事業者の受入施設として、北区福祉事務所、北区社会福祉協議会と連携し『生活保護受給者』『低所得者』『引きこもり者』に就労する場を提供して、体験から就労につなげる取り組みも成功させることができています。
- ・支援学校の実習生の受け入れや介護等体験の実習生の受け入れを再開することが出来た。

(2)

これまで交流のある金閣小学校5年生のクラスとの交流を感染症対策に気をつけ縮小しながらも、交流を行いました。

8 評価（指定管理者自己評価）

令和4年度は新型コロナウイルス感染のため休業もあり、また利用控えも多く実績は低下したが、感染予防対策のための出勤停止対策で職員不足の中感染を広げることなく事業を継続してきた。感染者を最小限に抑えることが出来たことはご利用者やご家族の安心感にもつながった。感染症対策を行ったうえで、地域のすこやか教室に参加したり、毎月の認知症カフェ運営には継続して参加し地域とのつながりを切らすことなく交流の機会を持ち続けた。地域の教育機関ではコロナ禍で実習の受け入れ先に苦慮されており、できる限りの感染症対策を行いながら実習生の受け入れも行いました。障害を理由とする差別を解消するために障害を理解するための研修で学び、障害に応じた対応を行えるよう、毎月サービス向上検討会議を行っています。安心してご利用いただけるデイサービスとして感染症対策に取り組んでいきます。